

報 道 配 布 資 料

平成 24 年 (2012 年) 3 月 27 日

所 属 名	所 属 長 名	部 局 長 名	担 当 者 職 ・ 氏 名	連 絡 先
山口県立大学	学長 え さと けんすけ 江里 健輔	附属地域共生センター 所長 あかひぼね きよし 赤羽 潔	附属地域共生センター 専任研究員 こうざき あかね 神崎 あかね	電話 083-928-3495
発表内容の 関係地域	【全県】、岩国、柳井、周南、【山口】、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

1. 件 名

平成 24 年度 山口県立大学前期公開授業の開催について

2. 内 容

	授 業 名	概 要	①日時②会場③申込締切日④受講料
1	「医学」	患者自身が医療を選択し決定する「自己決定権」の確立に役立てられるよう、プログラムを構成しています。 人間をトータルに捉え、多方面から医学・医療を解説していきます。 【全15回】	①平成24年4月9日(月)～7月23日(月) ②山口県立大学 本館A32教室 ③平成24年4月6日(金) ④各回500円 (10回以上 5,000円)
2	「地域学」	山口県の自然・文化・政治・経済などの特性や発展可能性を理解するとともに、地域を良くしていく、地域を創っていく能力を身につけることを目指します。 【全11回】	①平成24年4月12日(木)～6月28日(木) ②山口県立大学 4号館D15教室 ③平成24年4月10日(火) ④各回500円 (第1回講義は無料)
3	「環境問題」	「食生活と環境」をひとつの柱に、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学びます。自分の生活を再点検しながら、足元から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかんでいきます。 【全15回】	①平成24年4月13日(金)～7月27日(金) ②山口県立大学 6号館F204教室 ③平成24年4月11日(水) ④各回500円 (10回以上 5,000円)
4	「生命と生活の質特論」	心理的・社会的・メディカルな観点から、生・老・病・死の意味、障害者の当事者人権について、また世界の人々の暮らしとの対比など、ディスカッションやワークショップ形式の学びの中で、「今・ここ」を問いかけます。(大学院授業) 【全15回】	①平成24年5月12日(土)～6月30日(土) ②山口県立大学 4号館D14教室 ③平成24年5月10日(木) ④各回500円 (10回以上 5,000円)
5	「基礎セミナー I」	大学での学習(学問)に必要な基礎的素養の獲得を目指します。『環境』をテーマに情報のインプット、アウトプット、また情報の処理・管理に必要なアカデミック・スキルズを習得します。 【部分公開】	①平成24年5月16日(水)・5月30日(水) ②山口県立大学 講堂 (桜園会館) ③平成24年5月14日(月) ④各回500円
6	「環境理論特別講義 I」	「今、地球はどうなっているのだろうか？」 環境問題に関わるトップレベルの研究者が、地球環境問題の今とこれからの対策について語ります。 【全3回】	①平成24年5月19日(土)・6月23日(土)・ 7月7日(土) ②山口県立大学 6号館F204教室 ③平成24年5月17日(木) ④各回500円

3. 申込方法

- (1) 電話、FAX またはハガキで、郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・電話番号を、下記申し込み先までお知らせください。
- (2) 講座開始前までに、各自へ受講通知をいたします。

4. 問い合わせ・申し込み先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495



平成24年度

山口県立大学

前期公開授業

医学

開講期間 平成24年4月9日(月)～7月23日(月)

時間 各回17時50分から19時20分まで

会場 山口県立大学本館 A32教室

受講料 各回500円(10回以上5,000円)

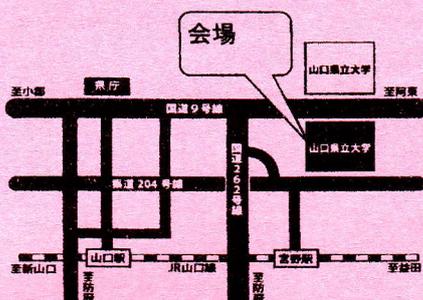
医学・医療の進歩は著しく、それに従事する人はもとより受ける人も医療の水準を知ることが大切です。また、「命」は医師のものではなく患者のもので、この授業は、患者自身が医療を選択し決定する、いわゆる「自己決定権」の確立に役立つものとなっています。そこで、人間をトータルに捉え、多方面から医学・医療を解説するように、プログラムを組み立てております。

部分受講もできます。13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証」を授与いたします。

回	月日	テーマ	講師
1	4/9 (月)	加齢と共に忍び寄りるロコモティブシンドローム ー長生きするために	山口大学大学院医学系研究科システム制御医学 教授 田口敏彦
2	4/16 (月)	救急医学	地方独立行政法人山口県立病院機構理事長 山口県立総合医療センター院長 前川剛志
3	4/23 (月)	医療における薬剤師の介入	山口大学医学部附属病院薬剤部長 教授 古川裕之
4	5/2 (水)	医療における倫理	山口県立大学看護栄養学部 教授 田中愛子
5	5/7 (月)	生活習慣病(1)循環器病	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学 講師 大草知子
6	5/14 (月)	生活習慣病(2)脳を守る	山口県立総合医療センター副院長・脳神経外科 山下哲男
7	5/21 (月)	婦人疾患 ～HPVと子宮頸がん	山口県立総合医療センター外科系主任部長 上田一之
8	5/28 (月)	日本人に多い癌 ～胃がん	山口大学大学院医学系研究科消化器外科学 准教授 榎 忠彦
9	6/4 (月)	乳がん	山口県立総合医療センター外科部長 野島真治
10	6/11 (月)	臓器移植	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学 准教授 土田昌弘
11	6/18 (月)	生活習慣病(3)糖尿病	山口県立総合医療センター代謝主任部長 井上 康
12	6/25 (月)	いのちへの寄り添い ～がんと緩和ケア～	山口赤十字病院副院長 末永和之
13	7/2 (月)	ストレスとうつ病	財団医療法人水の木会理事長 水木 泰
14	7/9 (月)	再生医療	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学 教授 濱野公一
15	7/23 (月)	癒しの医療	山口県議会議員 藤井律子

ご注意) 第4回講義に限り、水曜日の開催となります。お申し込み・問い合わせについての詳細は裏面をご覧ください。

回	月 日	テーマ	講義概要
1	4/9 (月)	加齢と共に忍び寄る ロコモティブシンドローム —長生きするために	歩行能力やバランス能力の低下が転倒リスクや閉じこもりリスクを亢進させ、健康寿命を大きく短縮させます。ロコモティブシンドロームの病態とその対策について述べます。
2	4/16 (月)	救急医学	救急医療には社会的意義もあり、軽症患者から重症患者まで来院するので、幅広くかつ高度の医学知識が要求されます。各種傷病の病態把握、重要臓器の機能維持や保護も学びます。
3	4/23 (月)	医療における薬剤師の介入	新たな医薬品開発による医療への貢献と、医薬品がもたらす有害作用について学びます。
4	5/2 (水)	医療における倫理	命を救うためには、第三者には容認できない事象を取扱うことが医療人に許されています。このため高い倫理が求められます。一般倫理と異なる医学倫理の特殊性を学びます。
5	5/7 (月)	生活習慣病 (1) 循環器病	突然死の原因の一つに心臓突然死があります。この背景、病態、治療、予防、等について概説します。
6	5/14 (月)	生活習慣病 (2) 脳を守る	長年の生活習慣により脳への危険が迫り、やがて脳卒中や認知症となって症状を出します。脳を守る自然のメカニズム、病気による破壊、医療が行う方法について解説します。
7	5/21 (月)	婦人疾患 ～HPVと子宮頸がん	子宮頸がんの発症にHPV (ヒトパピローマウィルス) が関係していることが明らかになり、またHPVに対するワクチンが開発されました。子宮頸がんの治療戦略について考えます。
8	5/28 (月)	日本人に多い癌 ～胃がん	日本人の3人に1人が癌で死亡します。癌の予防、癌の克服など、癌の基礎知識を予め持つことが大切です。わが国に多い癌の一つである胃がんについて概説します。
9	6/4 (月)	乳がん	本邦では近年乳がんが急増していますが、早期診断・治療により、予後は必ずしも悪くありません。近年の診断法、治療法および乳がん増加の理由について解説します。
10	6/11 (月)	臓器移植	臓器移植に関する医学的側面と社会的側面を解説します。脳死移植、心停止後移植、生体移植の違いを述べ、日本における臓器移植の現状を解説します。
11	6/18 (月)	生活習慣病 (3) 糖尿病	糖尿病は、食生活の欧米化による現代病です。糖尿病の多くは、生活習慣をコントロールすることで予防できます。糖尿病よりも、糖尿病で生じる合併症が致命となります。
12	6/25 (月)	いのちへの寄り添い ～がんと緩和ケア～	いのちとは何か？自分のこの世の存在とは何か？生死の世界に直面した患者と、家族の苦しみに寄り添うことの大切さを、ホスピスの現場からお伝えします。がんについて述べます。
13	7/2 (月)	ストレスとうつ病	本邦での自殺者は年間3万人以上です。この中にうつ病、ストレスを有した人がかなり存在します。ストレスとは何か？うつ病とは何か？両者の関係について述べます。
14	7/9 (月)	再生医療	生命は限られています。永遠に生き長らえることは人の夢です。細胞を再生できればこの夢がかないます。再生医療の現状を紹介し、社会にもたらす影響を検討します。
15	7/23 (月)	癒しの医療	医療との係わりが長くなるにつれ、機械的な医療が疎まれ、心のこもった医療を求めます。癒しの医療に足りないもの、配慮すべきことについて、体験を踏まえて述べます。



◆◆◆◆◆ お申し込み・問い合わせ ◆◆◆◆◆

電話、FAXまたはハガキで、下記にお申し込みください。

電話・FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

申込締切：平成24年4月6日(金) ※部分受講は、随時受け付けます。

地 域 学

4 月 12 日(木) ~ 6 月 28 日(木) 12:50 より 14:20 まで

山口県立大学 4 号館 D15 教室

山口県の自然・文化・政治・経済などの特性や発展可能性を理解するとともに、地域を良くしていく、地域を創っていく能力を身につけることを目指します。

回	月 日	講 義 テ ー マ	講 師
1	4 月 12 日 (木)	はじめに	三好 猛 (山口県立大学 学長特別補佐) 松尾 洋 (山口県立大学 教授)
2	4 月 19 日 (木)	地域学概論について	柳原 邦光 (鳥取大学 教授)
3	4 月 26 日 (木)	工学から見た山口	稲垣 詠一 (山口東京理科大学 教授)
4	5 月 10 日 (木)	山口の自然 ※遠隔授業	庫本 正 (秋吉台科学博物館 名誉館長)
5	5 月 17 日 (木)	山口の歴史(2)明治維新 - 英国側の視点との比較	田口 由香 (大島商船高等専門学校 講師)
6	5 月 24 日 (木)	山口の歴史(1)大内時代	伊藤 幸司 (山口県立大学 准教授)
7	5 月 31 日 (木)	山口の経済と産業 ※遠隔授業	宗近 孝憲 (山口経済研究所)
8	6 月 7 日 (木)	山口の政治	井竿 富雄 (山口県立大学 教授)
9	6 月 14 日 (木)	山口の文化(1)山口の近・現代文学 ※遠隔授業	加藤 禎行 (山口県立大学 講師)
10	6 月 21 日 (木)	山口の文化(2)地域での映画上映	山本 章三 (萩市役所総務部 次長)
11	6 月 28 日 (木)	郷土大学と周防大島の地域づくり	新山 玄雄 (周防大島郷土大学)

《プログラムの詳細は裏面をご覧ください》

※ 第 4 回、第 7 回、第 9 回の授業は、山口東京理科大学から TV 会議システムを使って行います。

◆ 部分受講もできます。

◆ 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証」を授与いたします。

受 講 料 各回 500 円 (第 1 回については無料)

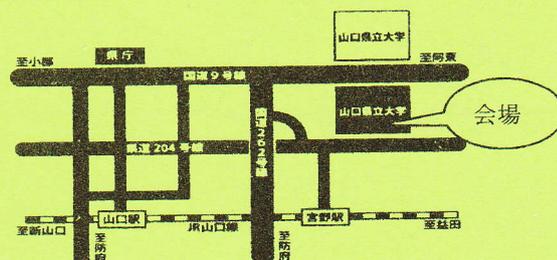
申 込 締 切 平成 24 年 4 月 10 日 (火)

お申し込み・問い合わせ 電話、FAX またはハガキで、
下記にお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜畠 3 丁目 2-1



回	月 日	講義テーマ	概 要
1	4月12日 (木)	はじめに	授業のテーマ、トピック、フィールドワークについて概要を学ぶ
2	4月19日 (木)	地域学概論について	①地域学とは何か、②地域学を学ぶ必要性は何か、③地域学の目指すものは何か、について学ぶ
3	4月26日 (木)	工学から見た山口	鉄道の父 井上勝、貴婦人号、錦帯橋と木組み技法の継承など、山口ゆかりの工学的事柄を通して教育のあり方について学ぶ
4	5月10日 (木)	山口の自然	秋吉台を中心に、山口県の自然の特性を学ぶ
5	5月17日 (木)	山口の歴史(2) 明治維新 — 英国側の視点との比較	イギリスの資料を用い、幕末史について、イギリス側、日本側の両視点を比較しながら学ぶ
6	5月24日 (木)	山口の歴史(1) 大内時代	山口の歴史、特に大内時代の山口について学ぶ
7	5月31日 (木)	山口の経済と産業	山口の経済、産業発展の歴史と産業特性について学ぶ
8	6月7日 (木)	山口の政治	山口の政治風土、特に近代以降の日本政治に果たした役割と山口県民の政治意識について学ぶ
9	6月14日 (木)	山口の文化(1) 山口の近・現代文学	山口の文化、特に山口の近・現代文学について学ぶ
10	6月21日 (木)	山口の文化(2) 地域での映画上映	上映活動(HAGI 世界映画芸術祭)の実践と地域文化について学ぶ
11	6月28日 (木)	郷土大学と 周防大島の地域づくり	周防大島の地域づくりの取り組みについて学び、フィールドワークにつなげる

◆◇◆平成24年度 山口県立大学前期公開授業「地域学」 受講申込書 ◆◇◆

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

TEL/FAX 083-928-3495

(ふりがな) お名前		ご住所	〒
電話・ FAX 番号		受講希望 (ご希望に○を 付けてください)	全回受講・部分受講 (回)

【開催期間】 平成 24 年 4 月 13 日(金) ~ 7 月 27 日(金)

【時間】 各回 10 時 20 分 ~ 11 時 50 分

【会場】 山口県立大学 6 号館 F204 教室

【受講料】 1 回 500 円 (10 回以上 5,000 円)

【受講申込〆切】 平成 24 年 4 月 11 日 (水)

環境問題

全 15 回講義

【講師】 国際文化学部教授 安溪 遊地

福島第一原発事故での原発安全神話の崩壊、続く放射能安全神話の崩壊…。「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という“常識”も崩壊した今、物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育て、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。本年度講義では、「食生活と環境」をひとつの柱に、現場の声に耳を傾けていきます。自分の生活を再点検しながら深く考え、足元から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかんでみませんか。

お申し込み・問い合わせについての詳細は裏面をご覧ください。

①	4/13 (金)	出過ぎる杭は打たれない -この講義の進め方
②	4/20 (金)	想定されていた地震・津波・原発災害 -天災から人災へ
③	4/27 (金)	携帯電話は安全か？ 電磁波のことを知っていますか？ (県立大教授・新谷 明雲さんを迎えて)
④	5/11 (金)	岩国からのメッセージ -基地被害から生活を守る (元岩国市長・井原 勝介さんを迎えて)
⑤	5/18 (金)	グローバルからローカルへ -「半農半X」の楽しみを生きる
⑥	5/25 (金)	あったか村においてよ -人の健康・地域の健康・地球の健康を守る (阿武町・白松 博之さんを迎えて)
⑦	6/1 (金)	先住民族の教え -アイヌ民族と沖縄・八重山の人々の世界観に学ぶ
⑧	6/8 (金)	スペイン・ナバラ自治州の持続可能性への挑戦 -わずか 20 年で 70% 電気エネルギー自給を実現
⑨	6/15 (金)	市民科学者のできること -上関原発予定地の“奇跡の海”の生物多様性を守る
⑩	6/22 (金)	化石燃料から再生可能エネルギーへ -地球 1 個分の暮らし (県立大教授・新谷 明雲さんを迎えて)
⑪	6/29 (金)	知る・愛する・守る -アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流
⑫	7/6 (金)	安心安全の暮らしのために(1) -本当にこれを食べてもいいのですか？
⑬	7/13 (金)	安心安全の暮らしのために(2) -身の回りのいのちの声に耳をすます (山口市・安溪 貴子さんを迎えて)
⑭	7/20 (金)	黙っていてあとで後悔するのはいやですね -いま足元からできること
⑮	7/27 (金)	だまされないために -知るは難く行うは易し (孫文のことば)

生命と生活の質特論

大学院の授業を公開します

心理的・社会的・メディカルな観点から、生・老・病・死の意味、脳死・安楽死と人格概念、終末期ケアをめぐる問題や病者・障害者の当事者人権について、また世界の人々の暮らしとの対比で、「今・ここ」を問いかけます。自由なディスカッションやワークショップ形式の学びあいの中で、認識を深めていきます。

回	月 日	時 間	テーマ
1	5月12日 (土)	9:00-10:30	QOLとは何か？ 大学院で学ぶとはどういうことか？
2		10:40-12:10	医療におけるQOL － QOLの評価方法 (1)
3	5月19日 (土)	9:00-10:30	〈生〉をめぐる人権のゆらぎ
4		10:40-12:10	〈死〉をめぐる人権のゆらぎ
5		13:00-14:30	医療におけるQOL － QOLの評価方法 (2)
6	6月9日 (土)	9:00-10:30	〈生〉 〈老〉 〈障〉 〈病〉 〈死〉 と ライフ・コース
7		10:40-12:10	
8		13:00-14:30	医療におけるQOL － QOL向上のための医療技術開発
9	6月16日 (土)	9:00-10:30	〈人のいのち〉の値段と〈お金〉のこと － アフリカの森に暮らして考えたこと
10		10:40-12:10	世界を旅して
11	6月23日 (土)	9:00-10:30	ただいま大規模人体実験中 － 日本人の〈地球2個分の暮らし〉
12		10:40-12:10	QOLワークショップ － 自然にふれる・いのちを感じる
13	6月30日 (土)	9:00-10:30	グループディスカッション (分科会)
14		10:40-12:10	分科会の報告と質疑応答
15		13:00-14:30	まとめ

プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

- 部分受講もできます。
- 全回受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証」を授与いたします。

開講期間 5月12日(土)～6月30日(土)

会 場 山口県立大学 4号館 D14教室 受講料 1回500円 (10回以上5,000円)

お申し込み・問い合わせ 電話、FAXまたはハガキで、下記にお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495 〒753-8502 山口市桜富3丁目2-1

申込締切 平成24年5月10日(木)



回	月日	時間	講師	テーマ	講義内容
1	5月12日 (土)	9:00- 10:30	学長 江里健輔 他 担当講師全員	QOL とは何か？ 大学院で学ぶとはどういうことか？	Life: いのち、生命、生活、人生……。なぜ、いま地域貢献型の山口県立大学大学院で Quality of life を学ぶのか。江里学長の講義(1時間)と全教員による全体の授業の進め方の説明。
2		10:40- 12:10	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一	医療における QOL — QOL の評価方法(1)	保健医療分野における QOL 評価の意義と方法について。
3	5月19日 (土)	9:00- 10:30	健康福祉学研究科教授	<生>をめぐる人権のゆらぎ	胎児の人権、障害者の生きる権利と女性の産む権利について。
4		10:40- 12:10	志村 哲郎	<死>をめぐる人権のゆらぎ	尊厳死や自殺補助の問題を通じて死の自己決定権を考察する。
5		13:00- 14:30	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一	医療における QOL — QOL の評価方法(2)	具体的な QOL 測定ツールを用いた QOL 評価の実際について。
6	6月9日 (土)	9:00- 10:30	健康福祉学研究科教授 志村 哲郎	<生><老><障><病><死>と ライフ・コース	現代社会で生起する生老障病死と現代人のライフ・コースの関係を考察する。
7		10:40- 12:10			
8		13:00- 14:30	健康福祉学研究科教授 吉村 耕一	医療における QOL — QOL 向上のための医療技術開発	患者の QOL 向上を目指した先進医療技術の現状と具体例について。
9	6月16日 (土)	9:00- 10:30	国際文化学研究科教授 安溪 遊地	<人のいのち>の値段と<お金>のこと — アフリカの森に暮らして考えたこと	アフリカと聞いたら、どんなことをイメージするだろうか。「人間は環境を破壊して生きるしかない」というのは大変な思いこみだと気づいた経験を語る。
10		10:40- 12:10		世界を旅して	フランスやスペイン、沖縄や奄美で、人々の現在の暮らし方をともに味わい、地域に根ざした伝承や芸能に耳を傾けたりする中で気付いた、日本人の生活に決定的にかけている「あるもの」に気づいた。
11	6月23日 (土)	9:00- 10:30	安溪 遊地	ただいま大規模人体実験中 — 日本人の地球2個分の暮らし	環境問題のほとんどは人権問題でもあることを、公害経験は教えている。さらに、人間以外の生き物にも、<自然の権利>があるという考え方を紹介する。
12		10:40- 12:10		QOL ワークショップ — 自然にふれる・いのちを感じる	山口環境教育学会の安溪貴子氏の指導によって、「いのち」を感じる授業のワークショップを実施。天気がよければ、キャンパス内の「夢の森」に出向きます。
13	6月30日 (土)	9:00- 10:30	健康福祉学研究科教授 志村 哲郎	グループディスカッション(分科会)	3室にわかれてグループディスカッション 1)<生><老><障><病><死>と現代人の生活 2)世界の中での日本人の暮らしと生命観 3)QOL評価をどう活かすか？
14		10:40- 12:10	国際文化学研究科教授 安溪 遊地 健康福祉学研究科教授	分科会の報告と質疑応答	それぞれの部屋での討論の内容を10分程度にまとめて、全体会で学生代表が紹介し、質疑応答する。
15		13:00- 14:30	吉村 耕一	まとめ	全員参加によるまとめと今後の展望

◆◆◆◆◆ 平成24年度 山口県立大学前期公開授業「生命と生活の質特論」 受講申込書 ◆◆◆◆◆

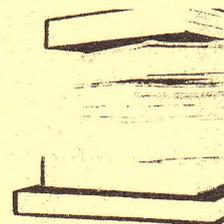
山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛 FAX 送付先 083-928-3495

(ふりがな) お名前		ご住所	〒
電話・ FAX 番号		全回受講・部分受講 (回)	

基礎セミナー I



大学での学習（「学問」）に必要な基礎的な素養の獲得を目指します。
 講義では『環境』をテーマに、情報のインプット、アウトプット、
 また、情報の処理・管理に必要な基礎的なアカデミック・スキルズを習得し、
 総合的に「学問」への理解を深めます。



開催日時：5月16日（水）・5月30日（水）各回とも10時20分～11時50分

会場：山口県立大学講堂（櫻園会館） 受講料：1回500円

回	日 時	テ ー マ	講 義 概 要	講 師
1	5月16日 （水） 10:20～ 11:50	持続可能な社会へ向けて1	私たち日本人は、現在地球が2個以上も必要な生活をしています。これは持続可能でしょうか？ 持続可能な社会とは、一体どんな社会なのか考えていきます。	共通教育機構 講師 今村主税
2	5月30日 （水） 10:20～ 11:50	持続可能な社会へ向けて2	<持続可能な社会とモノづくり> これからの社会は、「人」と「モノ」と「環境」の関係について、「価値の向上と持続性」を具現化したデザインが求められています。	国際文化学部 教授 井生文隆
			<持続可能な社会と災害ボランティア> 自立的な生活を営んでいたところに、突然の災害。 自らの生活の安定と他者への配慮に関して、私たちは、どのような行動をとればよいのか考えていきます。	

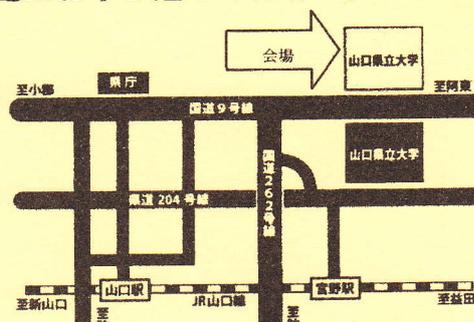
お申し込み・問い合わせ 電話、FAX またはハガキで、下記にお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話・FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜富3丁目2-1

申込締切：平成24年5月14日（月）



平成 24 年度 山口県立大学 前期公開授業 「基礎セミナー I」

受講申込書

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

FAX 送付先 083-928-3495

<p>(ふりがな)</p> <p>お名前</p>	
<p>ご住所</p>	<p>〒</p>
<p>電話・FAX 番号</p>	
<p>受講日</p> <p>(受講希望日に○をお付けください)</p>	<p>5月16日 5月30日</p>

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL: 083-928-3495 FAX: 083-928-3495
〒753-8502 山口県萩市3丁5番1-1

平成 24 年度 山口県立大学前期公開授業

「環境理論特別講義 I」

受講申込書

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

FAX 送付先 083-928-3495

<p>(ふりがな)</p> <p>お名前</p>	
<p>ご住所</p>	〒
<p>電話・FAX 番号</p>	
<p>受講日</p> <p>(受講希望日に○をお付けください)</p>	5月19日 ・ 6月23日 ・ 7月7日